

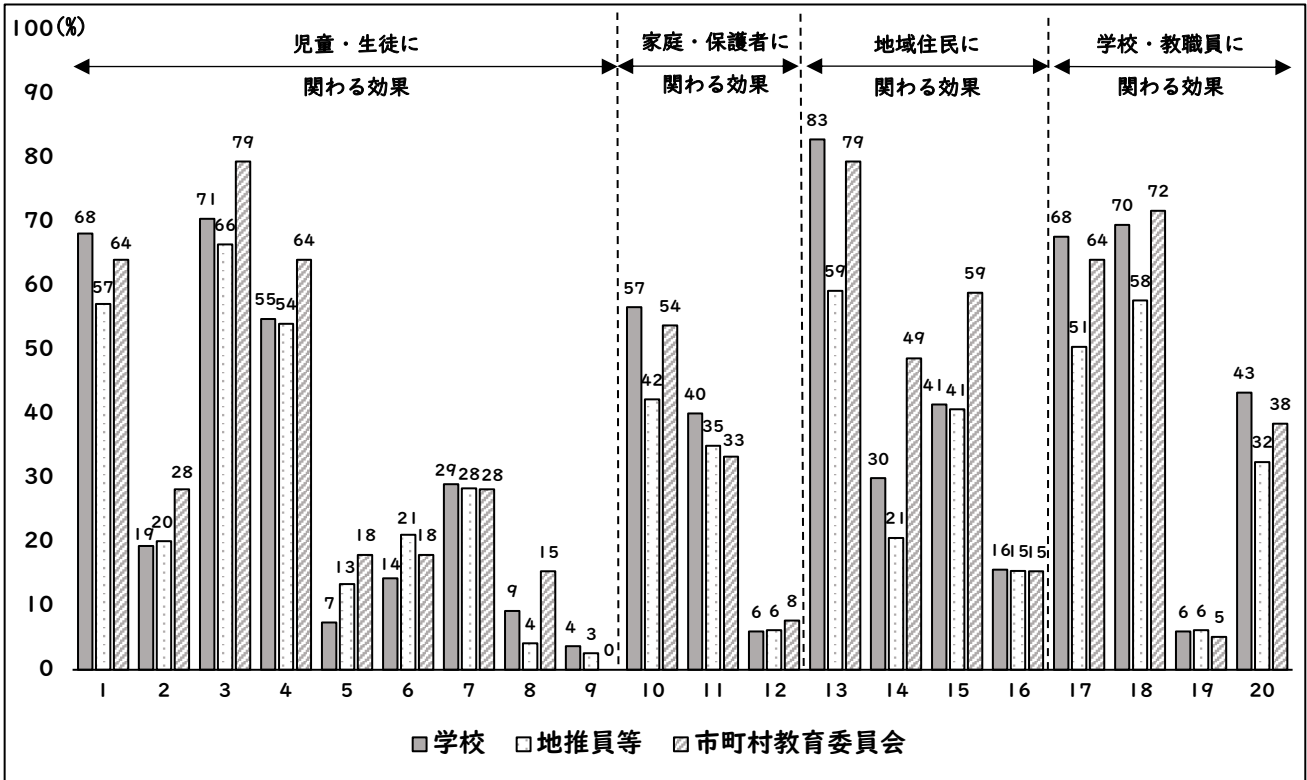
【学校・地域学校協働活動推進員等・市町村教育委員会共通調査】

令和7年度「地域と共にある学校づくり」に関する実態調査結果

地域学校協働活動の効果について

学校・地推員等・市町村教育委員会の比較

実施効果について

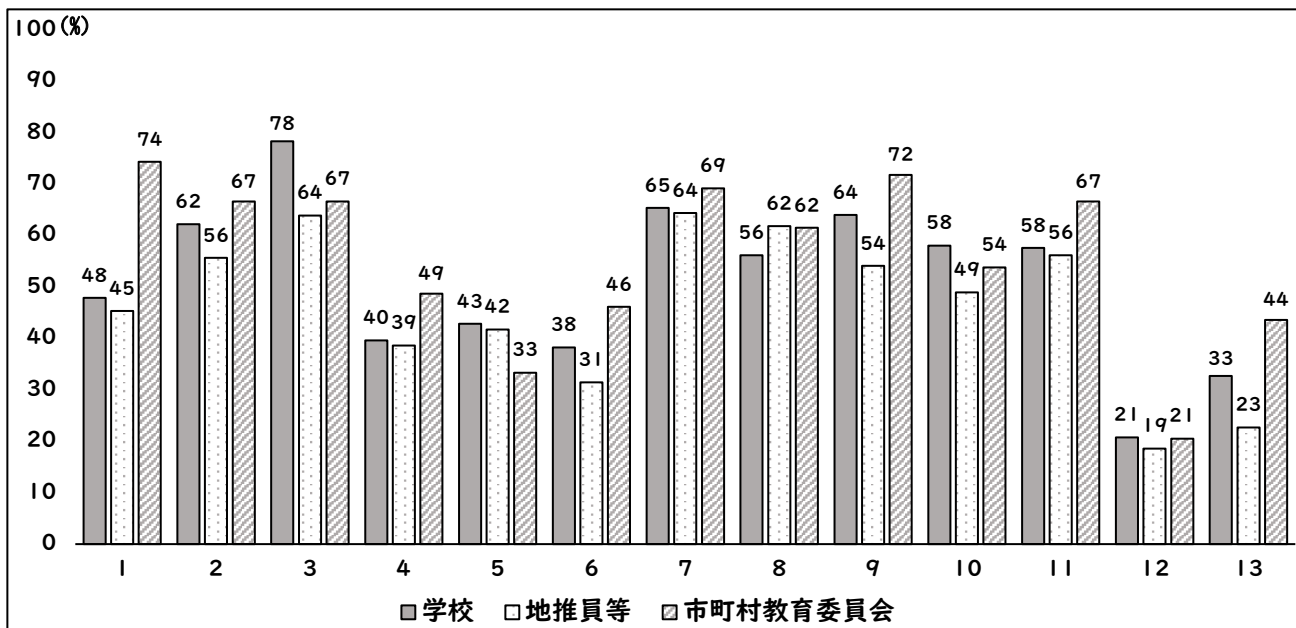


1. 子どもの学習に対する興味・関心や意欲の向上	11. ボランティアへの保護者の参加者数の増加
2. 子どもの学習習慣の改善	12. 家庭の教育力の向上
3. 子どもがあいさつを積極的に行うこと	13. 地域住民の学校に対する理解の深化
4. 子どもたちのコミュニケーション力の向上	14. 地域の教育力の向上
5. 子どもが自らを律し、進んでいきまを守ること	15. 地域住民の生きがいづくりや自己実現
6. 子どもがリーダーシップを発揮する場面が増えること	16. 地域住民による地域課題の解決に向けての活動
7. 子ども自身が率先して、人のために行動ができること	17. ボランティアが学習支援を行うことによる教育内容の充実
8. 部活動における技術の向上(中学校・義務教育学校・高等学校のみ)	18. 子どもたちの通学時の交通安全、防犯体制の充実
9. 部活動における参加率の向上(中学校・義務教育学校・高等学校のみ)	19. 子どもたちの問題行動や不登校の減少
10. 保護者の学校に対する理解の深化	20. 教職員が子どもと向き合う時間の増加

学校園、地推員等、市町村教育委員会が効果を感じている内容は、以下の通りです。

- 【児童・生徒に関わる効果】
  - 1 「子どもの学習に対する興味・関心や意欲の向上」
  - 3 「子どもがあいさつを積極的に行うこと」
  - 4 「子どもたちのコミュニケーション力の向上」
- 【家庭・保護者に関わる効果】
  - 10 「保護者の学校に対する理解の深化」
- 【地域住民に関わる効果】
  - 13 「地域住民の学校に対する理解の深化」
- 【学校・教職員に関わる効果】
  - 17 「ボランティアが学習支援を行うことによる教育内容の充実」
  - 18 「子どもたちの通学時の交通安全、防犯体制の充実」

## 効果を生み出す要素について



- |                                  |                              |
|----------------------------------|------------------------------|
| 1. 地域学校協働本部における熟議                | 8. 地推員等とボランティアとの円滑なコミュニケーション |
| 2. 学校がボランティアに期待する活動内容の明確化        | 9. 教職員の理解と協力                 |
| 3. 学校が望むボランティアの確保                | 10. PTAの理解と協力                |
| 4. ボランティアの力量や意欲                  | 11. 地域住民組織等の理解と協力            |
| 5. 活動内容がボランティアの特技や経験を活かしたものであること | 12. 本事業の活動場所を学校内に設置          |
| 6. 地推員等の力量や意欲の向上                 | 13. 地域の教育力の向上                |
| 7. 地推員等と学校との円滑なコミュニケーション         |                              |

地域学校協働活動の実施による効果を生み出すためには、2「学校がボランティアに期待する活動内容の明確化」、3「学校が望むボランティアの確保」、7「地推員等と学校との円滑なコミュニケーション」、9「教職員の理解と協力」、11「地域住民組織等の理解と協力」が必要であると感じている学校、地推員等、市町村教育委員会の割合が高くなっています。

多くの学校において、地域学校協働活動を実施することで、さまざまな効果が感じられています。活動を重ねる中で学校と地域の役割分担が徐々に明確になることにより、教員が子どもに向き合う時間の確保（働き方改革）にもつながり、より豊かな教育活動が展開されている様子がうかがえます。

「1. 地域学校協働本部における熟議」における回答については、「市町村教育委員会」「学校」「地推員等」の間で認識の乖離が見られます。学校運営協議会等で共有された「育てたい子ども像」や「目指すべき教育のビジョン」といった目標を基盤として、地域学校協働本部において活動内容について熟議を行うことは極めて重要です。その上で、これらの「育てたい子ども像」や「目指すべき教育のビジョン」を反映した活動を展開することにより、目標の実現に近づくとともに「地域の教育力の向上」にもつながります。

このため、市町村教育委員会におかれては、県主催の研修会等への対象者の参加促進や独自の研修会等の実施を通じて、熟議の重要性についての周知をお願いします。また、学校及び地推員等におかれては、研修会等への積極的な参加に加え、「目の前の子どもたちの現状」を的確に把握した上での熟議により共有された「育てたい子ども像」や「目指すべき教育のビジョン」を反映した取組の実施をお願いします。